

(様式2)新規評価シート

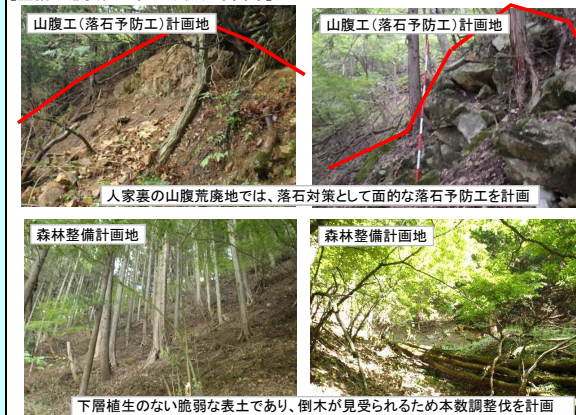
林務部 森林づくり推進課

事業名	緊急予防治山事業		路河川名等	—		
事業毎の通番	3	市町村名	下諏訪町	箇所名(ふりがな)	菟川(こもかわ)	
事業概要	事業目的	下諏訪町菟川地区は、過去の豪雨や平成29年度の豪雨災害により、集落背後の山林から土砂流出や落石や倒木により人家付近への被害が発生した。 このため、人家付近への落石対策と荒廃した森林の整備を行い災害に強い森林づくりを図る。				
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)	事業実施の根拠法令等	森林法		
	関連する事業、計画等					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象: 人家13戸、町道500m、農業用水路500m				
	着手年度	平成30年度	事業期間	2年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	12.5	国庫	その他 県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	山腹工0.08ha、森林整備3.0ha		32,000	17,600	12,000 2,400
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	崩壊斜面の安定、落石・土砂流出の抑止 人家、町道等の保全				
	間接的効果(定量的・定性的)	災害に強い森林づくり 自然環境の維持・保全				
評価の視点	必要性	○人家戸数 : 13戸 ○公共施設数 : 2箇所 町道、農業用水路 ○災害時要援護者関連施設の有無 : 無 ○保安林・林業用施設 : 保安林率100% 土砂流出防備保安林(S43.7.8)	評価	A		
	重要性	○過去の災害履歴 : 有 平成24年7月豪雨災害ほか ○交通遮断における地域経済への影響 : 中 集落の通勤、通学路 ○地域防災計画上の位置付け : 有 長野県地域防災計画、下諏訪町地域防災計画	評価	A		
	効率性	○費用対効果(B/C) : 12.52 ○事業期間 : 2年 H30~H31 ○工法等の比較検討 : 有 最新技術の活用、荒廃機構や地形特性を踏まえた工法 ○流域の総合調整 : 有 全て治山事業で対応	評価	A		
	緊急性	○流域の地形、地質 : 火山噴出物 第三紀火山岩類 ○平均渓床勾配(平均山腹勾配) : 40° ○下流の堰堤等の整備状況 : 有 ポケット無 ○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域 : 山腹崩壊危険地区361-2叩水(Aランク)	評価	A		
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知 ○地域の取り組み : 地域住民から直接事業要望あり ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 落石の除去等の簡易な維持管理を実施	評価	B		
	所管課意見	H29年5月の豪雨により土砂の流出や落石、倒木が発生している。下方に人家や町道があり対策工事を行う必要がある。	採択状況	○	総合評価	A
技術管理室意見	事業実施にあたっては、安全で安心な県民生活を確保するために、適切な対策工事を検討すること。					

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当地区は、過去において度重なる小崩落や小規模な落石により町道への土砂流出、人家への落石、人家への倒木を繰り返してきた。直近では平成24年度7月豪雨災害により農業用水路をせき止め下流への町道へ土砂が流出した。また、計画区域内の森林の質の低下(倒木、下層植生の衰退)や山林内の転石が見られ、災害の未然防止のために、さらなる治山対策による落石対策、倒木対策が求められている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	従前から、町を主体とした流域パトロールを実施してきたところであるが、平成29年5月の雨により山腹斜面崩壊とともに人家脇に倒木が発生。この人家住民は豪雨が予想される場合、自主的に避難をしている。また、当地調査時に地域住民より直接事業の要望を受けた。
③事業説明等の経緯	今後、事業実施が具体的になった段階で、地域住民への説明会を開催する予定である。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	落石対策において吹付工だけでなく、立木を残し、森林の持つ機能を残した、自然環境に調和した施設整備を実施。
⑥地域活性化への影響と配慮	保全対象である町道は7年に一度の重要な祭事の通り道として重要な道路であり、本事業の導入により観光を中心とした地域活性化への貢献も期待できる。 本事業を契機に、さらなる地域主体の里山保全と山地防災(住民による流域の点検、森林管理)を促していく。
⑦その他	最新技術である航空レーザ測量による立体地形図や森林解析を活用し、流域の地形や森林特性を踏まえた合理的な工種・工法を検討している。

事業代表地点の緯度経度  
北緯: N 36° 05' 50" 00  
東経: E 138° 05' 17" 00